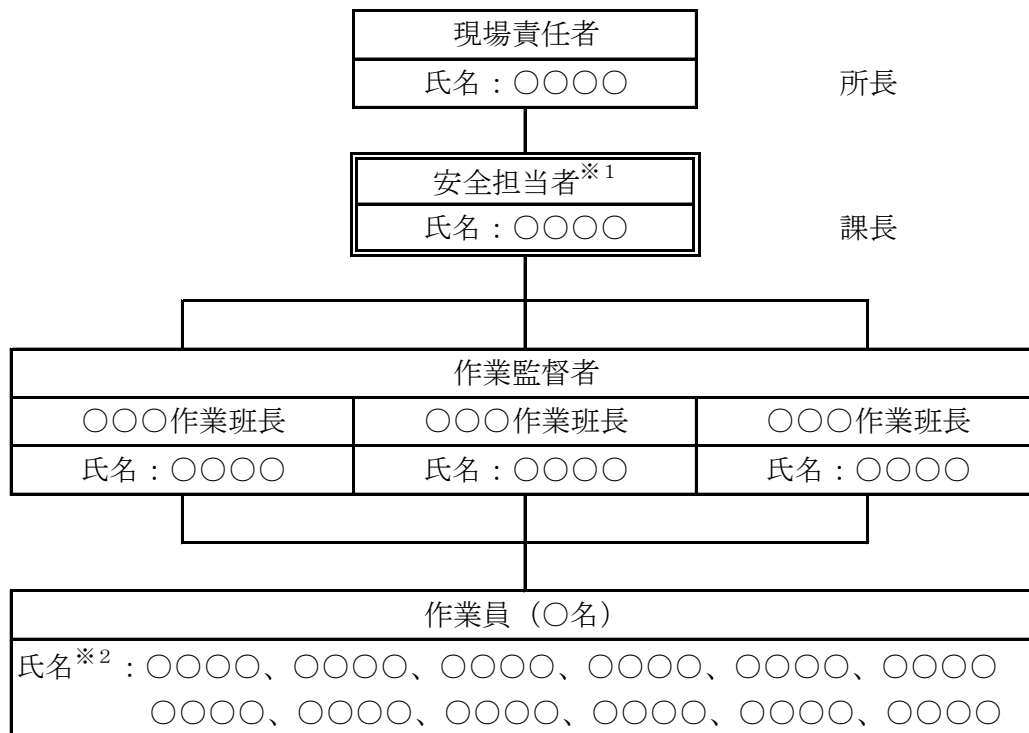


## 〇〇〇温泉掘削現場における保安全管理機構図

〇年〇月〇日現在

社内での役職



--

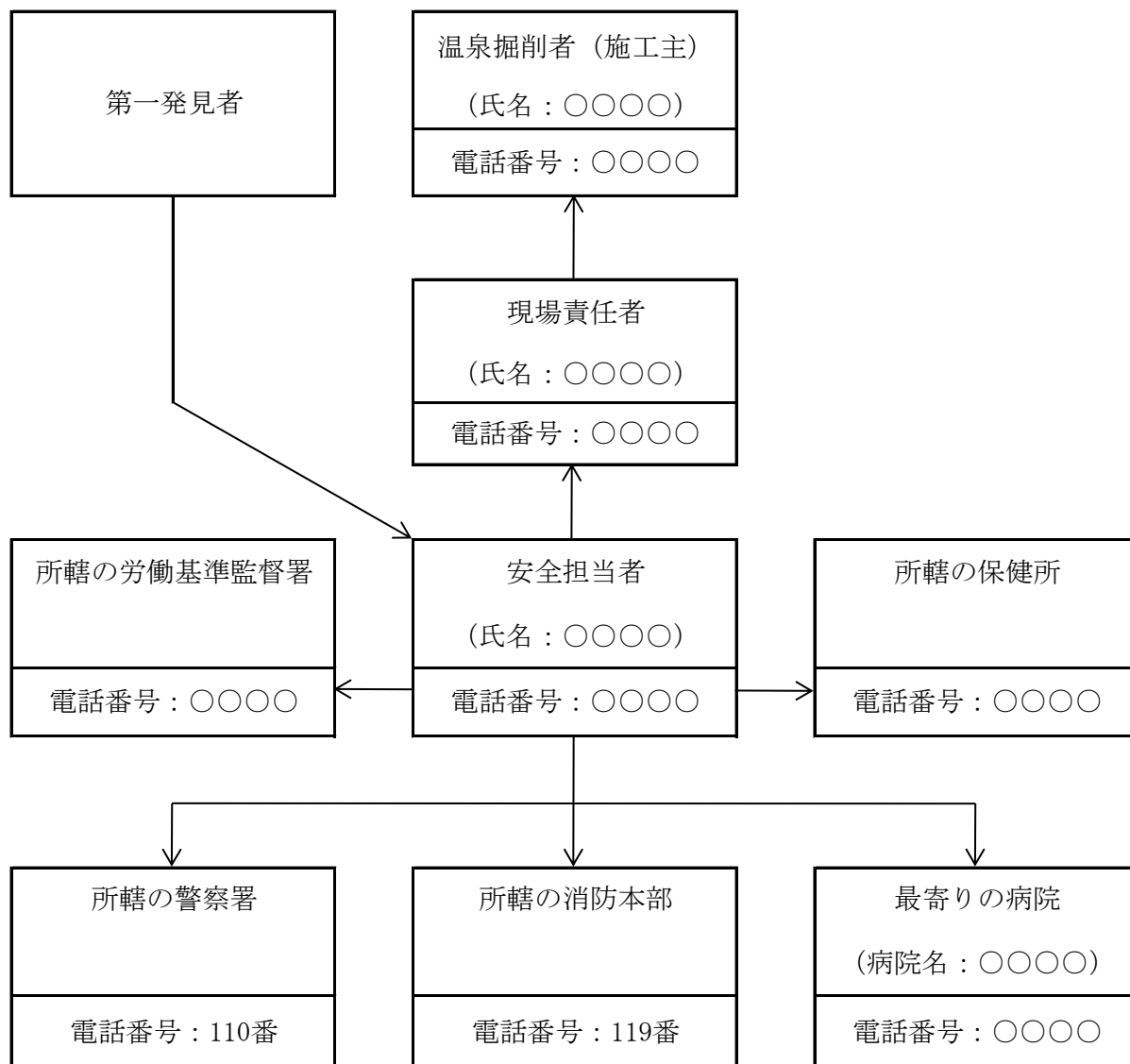
：災害防止規程で定められる管理者

※1：代理者を選任する場合は、代理者名についても記載。

※2：分かる場合は、氏名についても記載。

## 〇〇〇温泉掘削現場における災害時連絡系統図

〇年〇月〇日現在



(作成例) 日 常 点 検 表

現場名： ○○温泉掘削現場

点検年月日	点 検 結 果				警報装置の 作動状況	作業内容	掘削深度	備 考	点検者名	責任者 検閲欄
○年○月○日	点検時刻	8:00	11:00	14:00	警報装置作動なし	掘削作業	2 0 0 m		掘削太郎	現場責任者 安全担当者 (サイン)
	メタン濃度 の測定値	・ 測定結果 0%LEL (掘削口周辺) 0%LEL (○○周辺)		・ 測定結果 0%LEL (掘削口周辺) 0%LEL (○○周辺)						
	ガス噴出 の兆候	有・無		有・無						
○年○月○日	点検時刻				○○時○○分 警報装置作動 ガス濃度 ○○%LEL	掘削作業	5 0 0 m			
	メタン濃度 の測定値									
	ガス噴出 の兆候									
○年○月○日	点検時刻				○月○日から引き続 き警報装置作動中 ガス濃度 ○○%LEL	ゆう出路 の洗浄	1, 500m			
	メタン濃度 の測定値									
	ガス噴出 の兆候	常時監視 噴出の兆候なし								

点検事項

- 毎作業日 1 回以上点検を実施し記録する事項
- ①掘削口、泥水ピット周辺及び可燃性天然ガスが滞留するおそれがある場所において、空気中のメタン濃度が危険な濃度（25%LEL）となっていないか（携帯型可燃性ガス測定器を用いて測定）。

②可燃性天然ガスの噴出の兆候がないか（毎作業日 1 回以上、ゆう出路洗浄時は常時）。
- その他状況に応じて必要な事項
- 掘削口から水平距離 3 m ( 8 m ) の範囲内で、火気使用設備等の設置又は火気を使用する作業を行っていないか。

○火気厳禁等の提示が適切な位置に設置されているか。

○関係者以外の立入禁止措置が適切に講じられているか。

○消火器が必要な箇所に備えられているか。

○ガス警報設備が正常に機能しているか。